

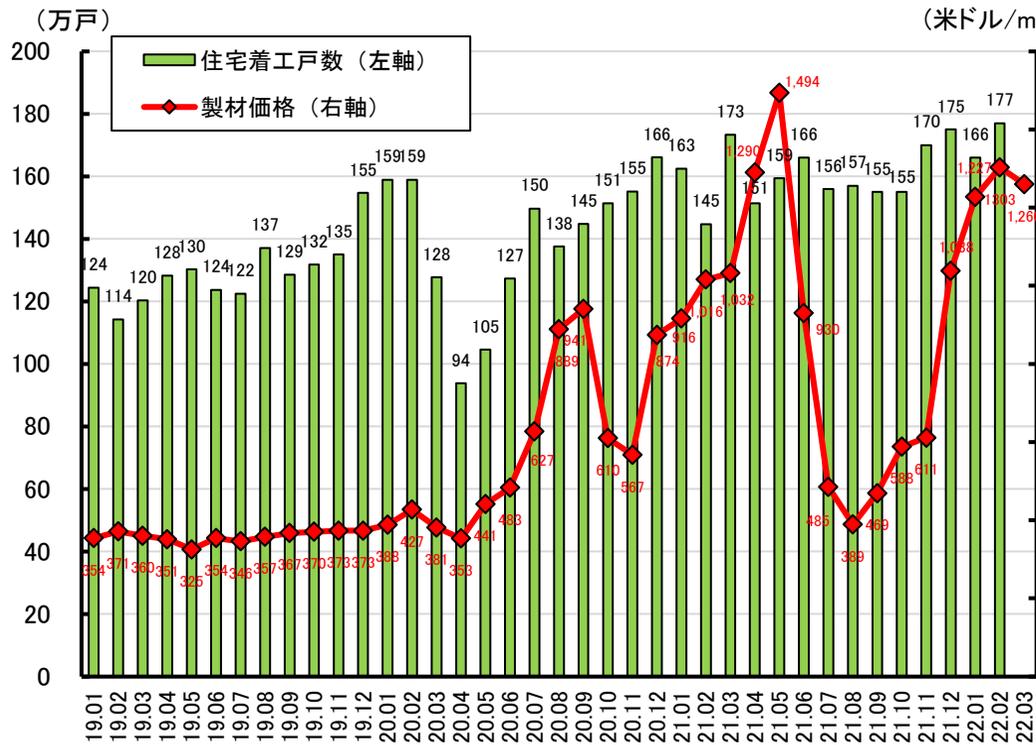
# 木材輸入の状況について

## (2022年2月実績)

令和4年3月  
林野庁 木材貿易対策室

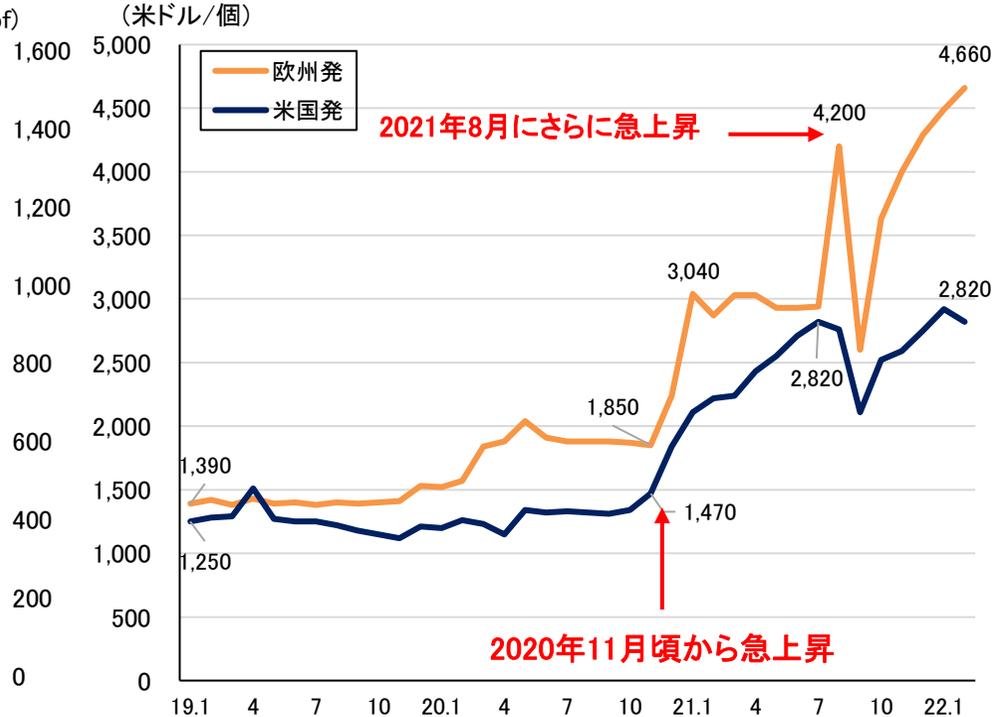
# 1. 米国における木材価格の高騰

- 米国の住宅着工戸数(戸建て計)は、コロナ禍による在宅需要の増加と住宅ローンの低金利により、2020年5月から急増。2021年3月に173万戸(年率換算)を記録。2022年2月は、前月比+7%増の177万戸。
- 北米の木材価格も、2020年夏から急上昇し、2021年5月には1,494ドル/mbfを記録。以後、急落したが、同年9月以降、再上昇し、2022年2月に1,303ドル/mbfに達した。同年3月は、1,260ドル/mbf(前月比▲3%減)に下落。前月比減は7か月ぶり。
- 2021年秋以降、中国から北米へのコンテナの急増による他国でのコンテナ不足と、コロナ禍による中国での港湾作業員不足が深刻化。
- 世界的なコンテナ不足により、海上輸送運賃が急激に上昇。日本向けコンテナ運賃は、2021年9月に一時大きく下落したものの、同年10月以降は欧州発、米国発ともに再度上昇傾向。



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)  
(製材価格)Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」(月末価格)

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



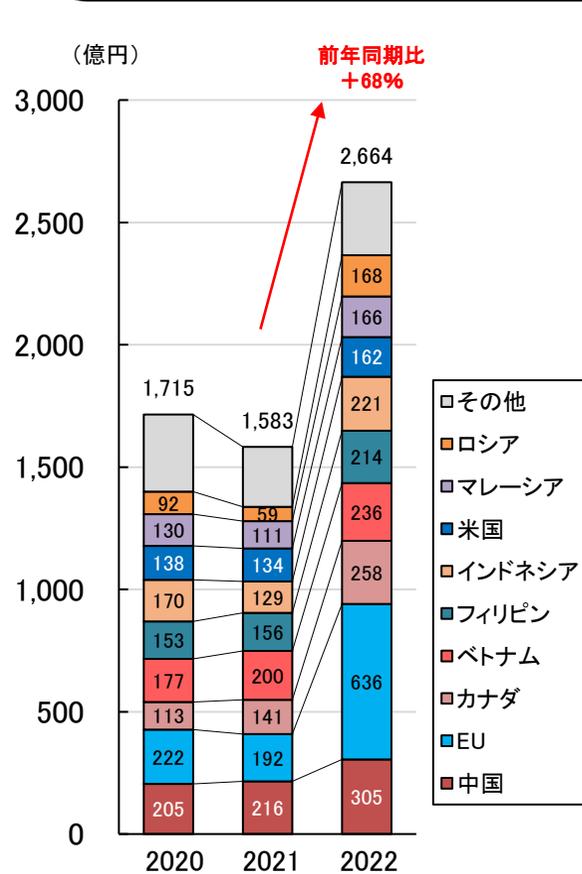
(注) 40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。  
(出典) Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

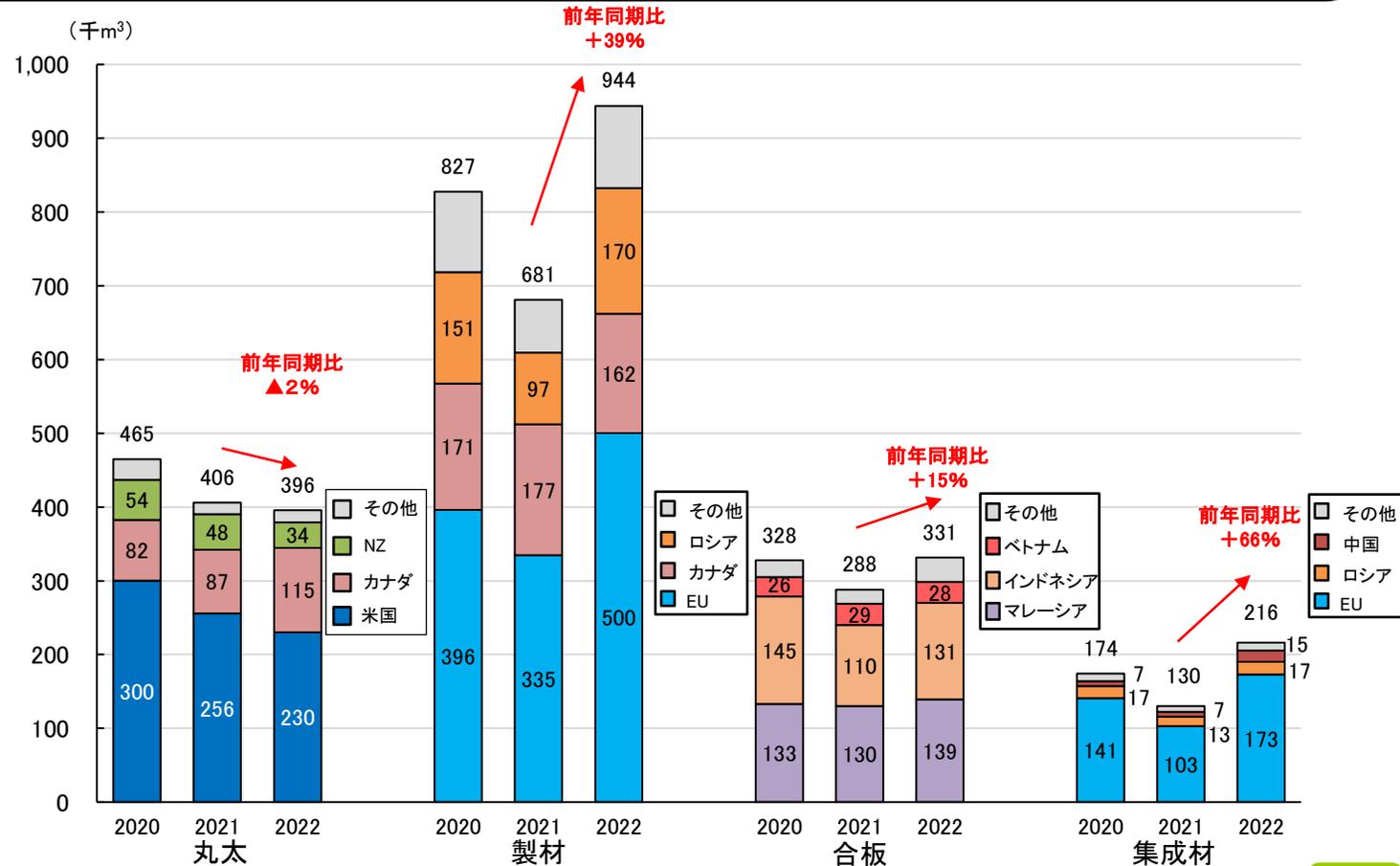
日本向けコンテナ運賃の推移

## 2. 2022年2月の木材輸入実績

- 2022年1～2月の木材輸入額累計は、前年同期比+68%増の2,664億円。
- 品目別の輸入量を見ると、丸太が同▲2%、製材が+39%、合板が同+15%、集成材が同+66%と、軒並み増加。カナダの丸太、ロシアの製材、EUの製材・集成材、マレーシアとインドネシアの合板が増加。
- なお、2020年同期と比較すると、2022年1～2月の木材輸入額累計は同+55%増加。品目別では、丸太が同▲15%、製材が+14%、合板が同+1%、集成材が同+24%増加。



木材輸入額の推移  
(2020～2022年における1～2月累計)

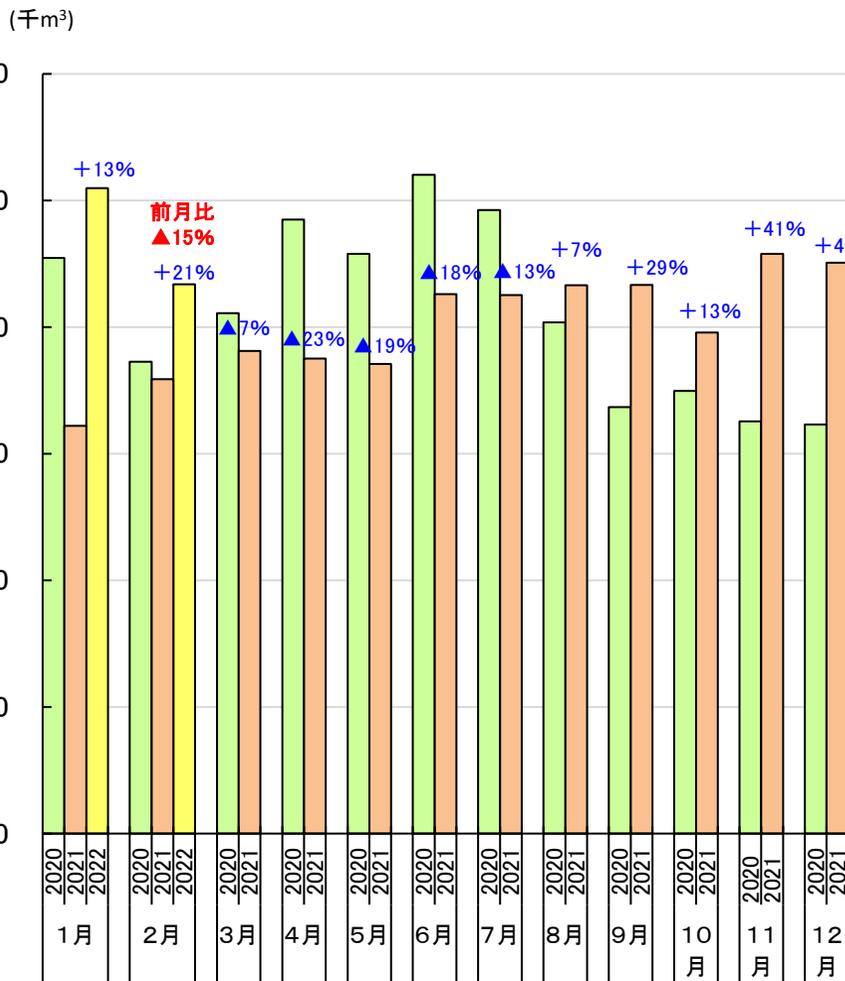


(注) 2022年2月のエクアドルからの丸太(4403.99-990号)輸入量については、財務省に数値の確認中のため、集計からは除外している。

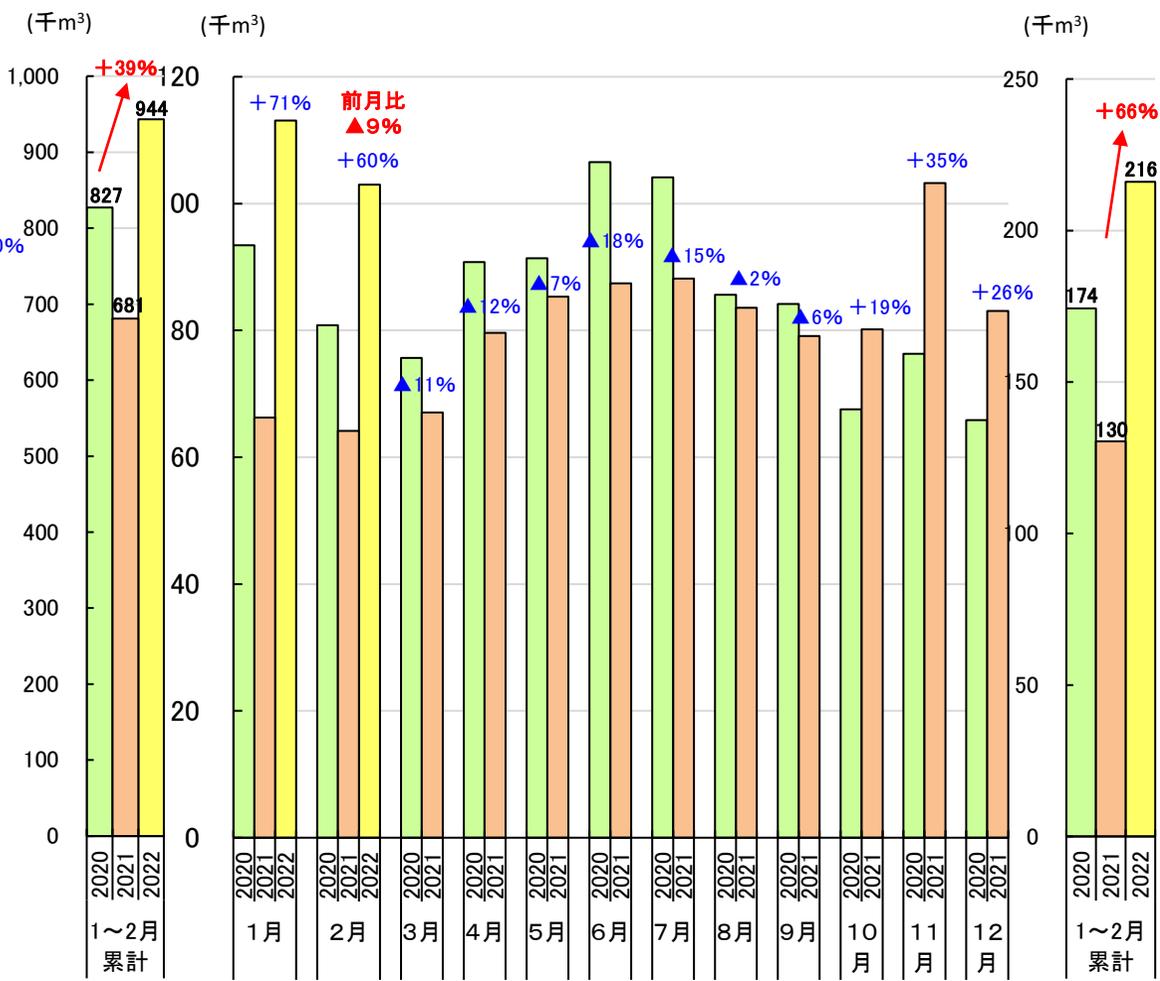
品目別木材輸入量の推移  
(2020～2022年における1～2月累計)

### 3. 製材・集成材の月別輸入量

- 2022年2月の製材輸入量は、前月比▲15%減の43.4万m<sup>3</sup>(前年同月比+21%増)。1～2月の累計は、前年同期比+39%増(2020年同期比+14%増)の94.4万m<sup>3</sup>。
- 同月の集成材輸入量は、前月比▲9%減の10.3万m<sup>3</sup>(前年同月比+60%増)。1～2月の累計は、前年同期比+66%増(2019年同期比+24%増)の22万m<sup>3</sup>。



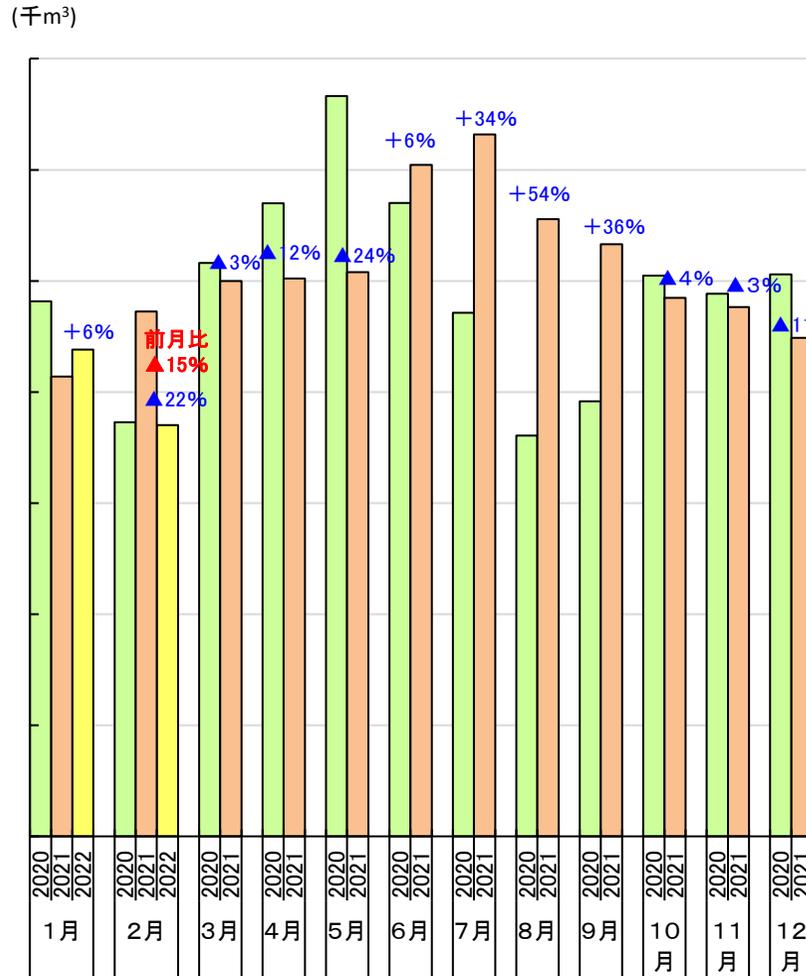
製材の輸入量



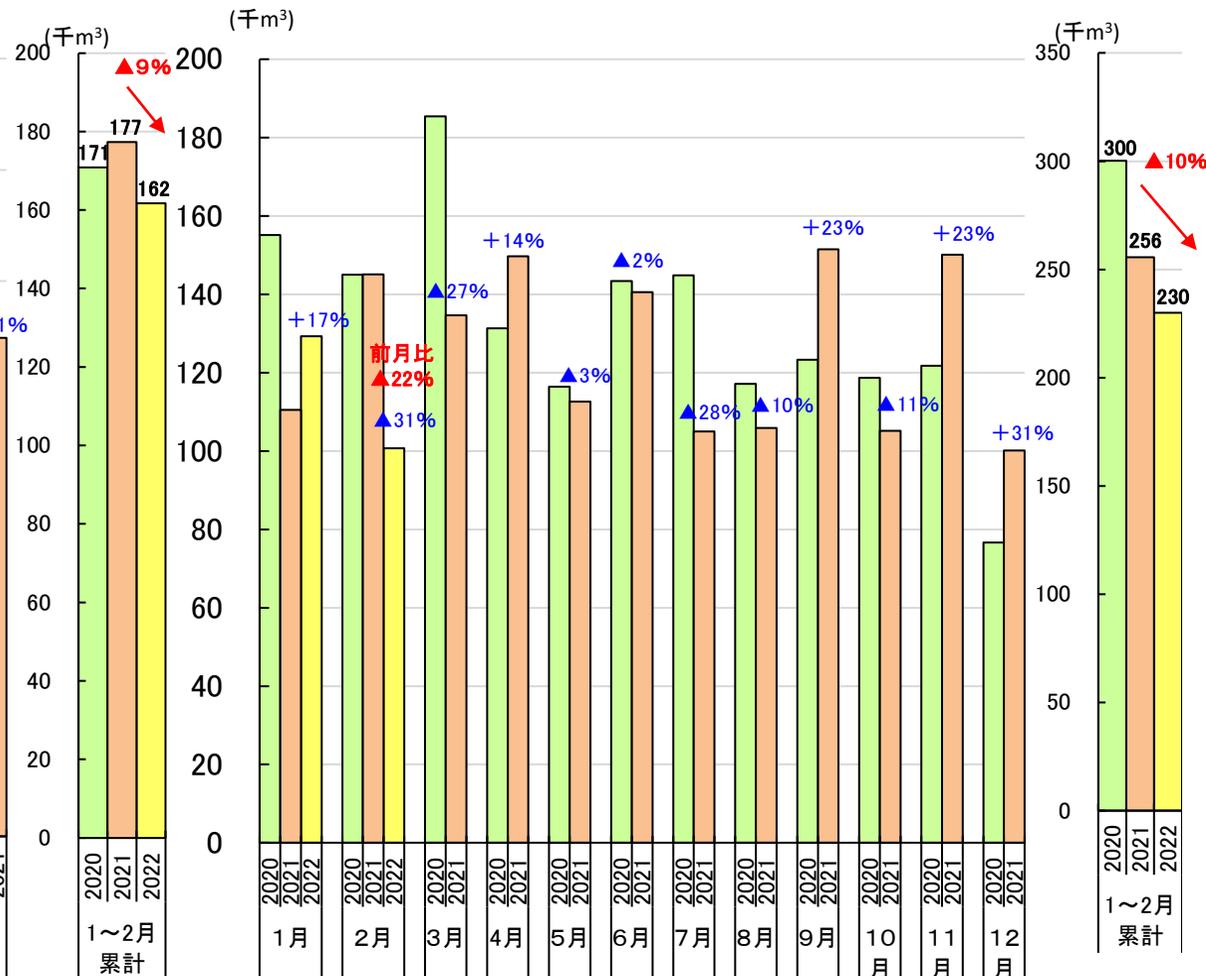
集成材の輸入量

## 4. 北米からの月別輸入量

- 2022年2月のカナダからの製材輸入量は、前月比▲15%減の7.4万m<sup>3</sup>(前年同月比▲22%減)。1～2月の累計は、前年同期比▲9%減(2020年同期比▲3%減)16.2万m<sup>3</sup>。
- 同月の米国からの丸太輸入量は、前月比▲22%減の10.1万m<sup>3</sup>(前年同月比▲31%減)。1～2月の累計は、前年同期比▲10%減(2020年同期比▲23%減)の23.0万m<sup>3</sup>。



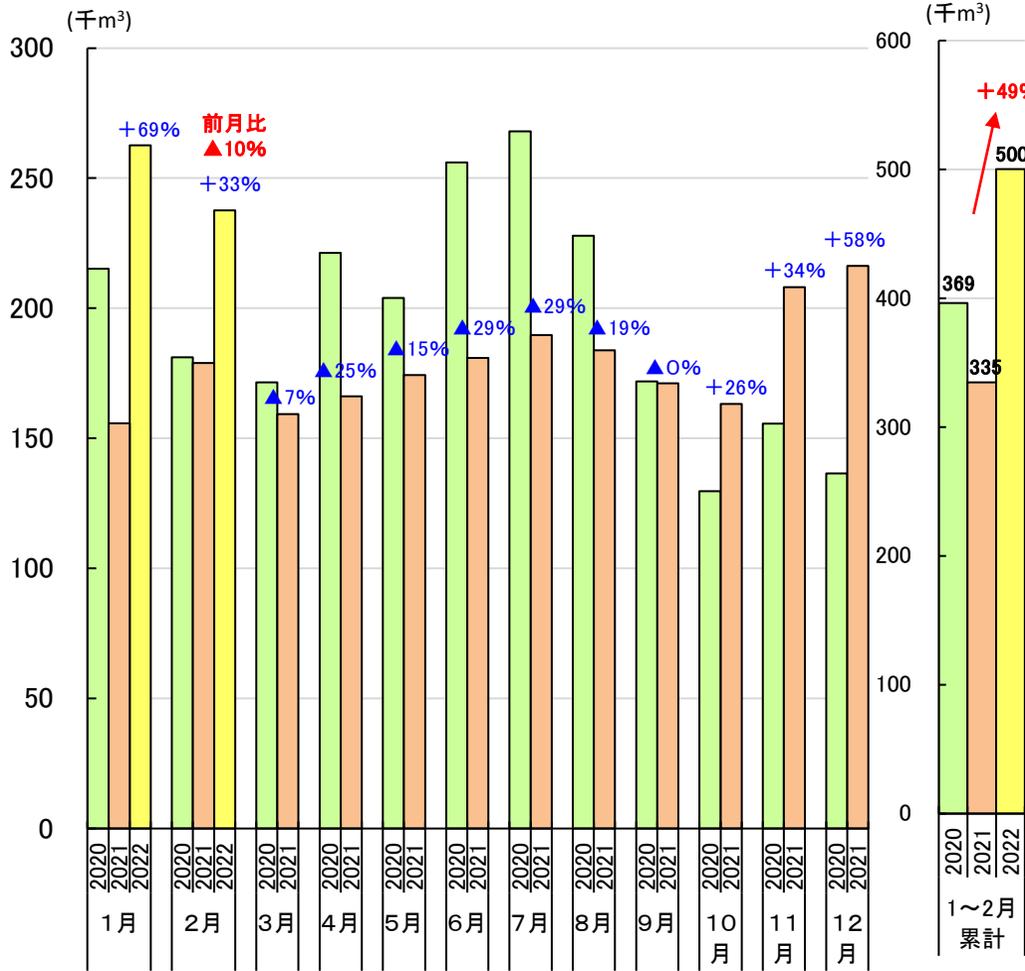
カナダからの製材輸入量



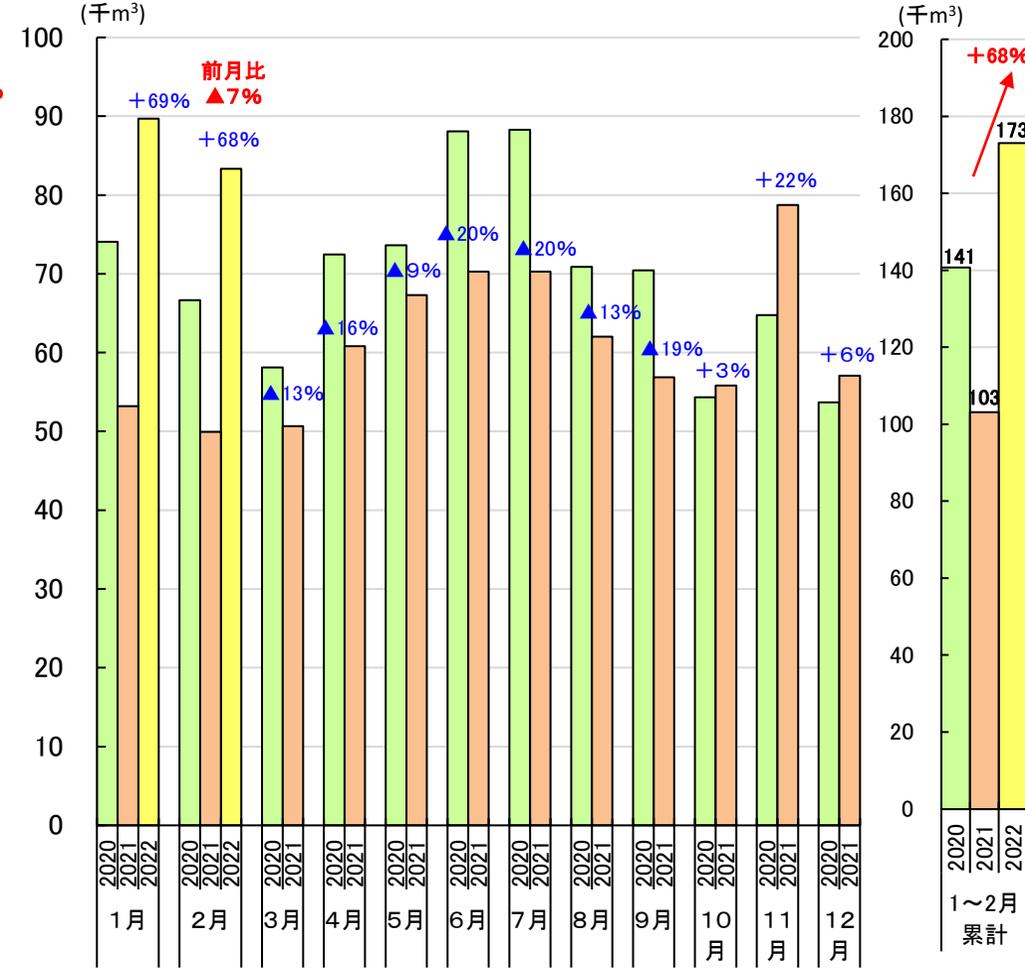
米国からの丸太輸入量

# 5. 欧州からの月別輸入量

- 2022年2月のEUからの製材輸入量は、前月比▲10%減の23.8万m<sup>3</sup>(前年同月比+33%増)。1～2月の累計は、前年同期比+49%増(2020年同期比▲15%減)の50万m<sup>3</sup>。
- 同月のEUからの集成材輸入量は、前月比▲7%減の8.3万m<sup>3</sup>(前年同月比+67%増)。1～2月の累計は、前年同期比+68%増(2020年同期比+23%増)の17万m<sup>3</sup>。



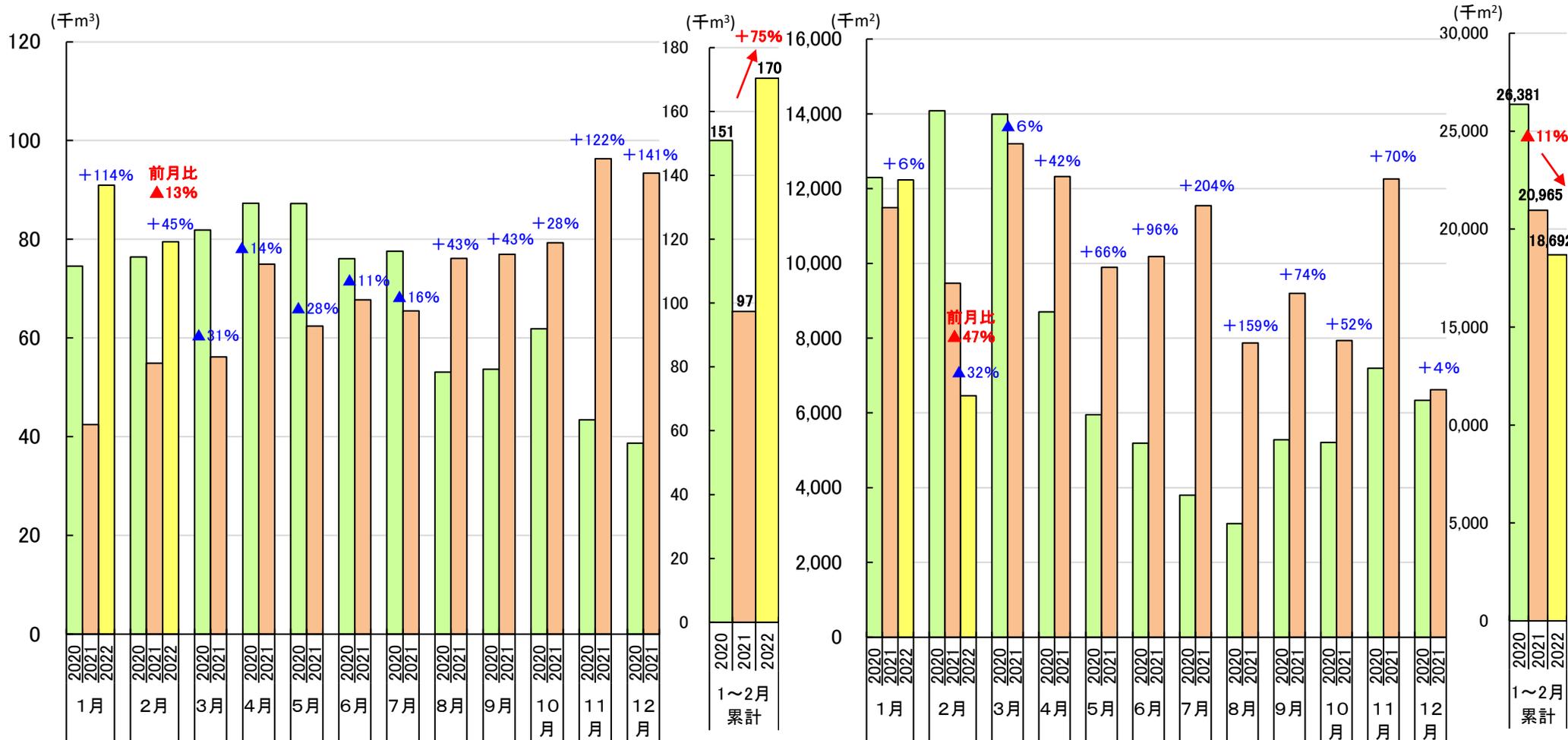
EUからの製材輸入量



EUからの集成材輸入量

## 6. ロシアからの月別輸入量

- 2022年2月のロシアからの製材輸入量は、前月比▲13%減の7.9万m<sup>3</sup>(前年同月比+45%増)。1～2月の累計は、前年同期比+75%増(2020年同期比+13%増)の17万m<sup>3</sup>。
- 同月のロシアからの単板輸入量は、前月比▲47%減の646万m<sup>2</sup>(前年同月比▲32%減)。1～2月の累計は、前年同期比▲11%減(2020年同期比▲29%減)の1,869万m<sup>2</sup>。

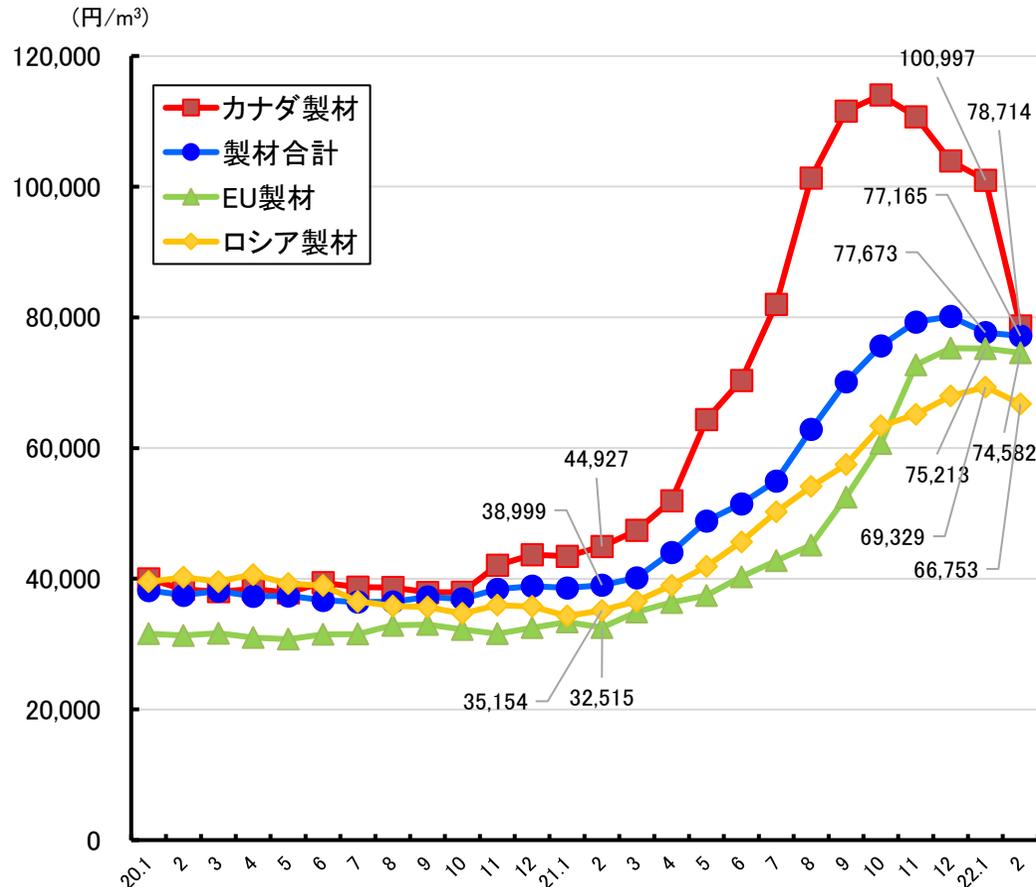


ロシアからの製材輸入量

ロシアからの単板輸入量

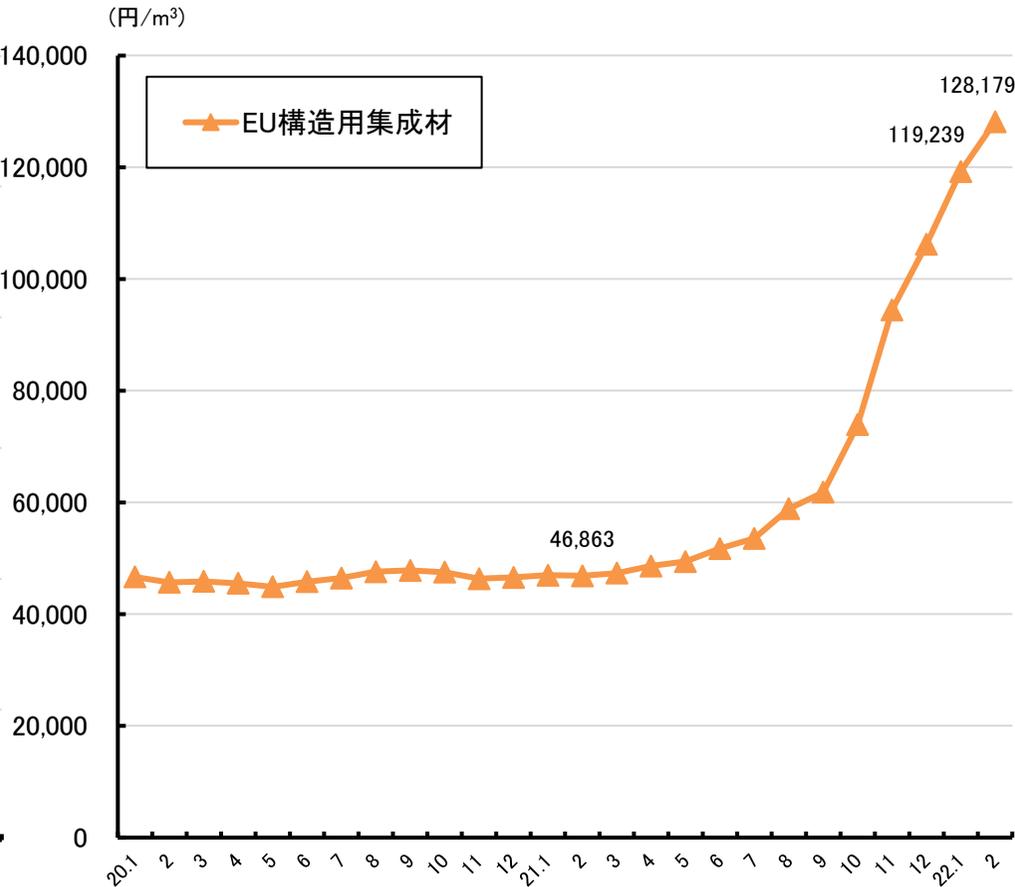
# 7. 製材・構造用集成材の輸入平均単価

- 2022年2月の製材輸入平均単価（総輸入額／総輸入量）は、前月比▲1%減の77,165円/m<sup>3</sup>（前年同月比+98%増）。うち、カナダの製材は、前月比▲22%減の78,714円/m<sup>3</sup>（前年同月比+75%増）、EUの製材は、前月比▲1%減の74,582円/m<sup>3</sup>（前年同月比+129%増）、ロシアの製材は、前月比▲4%減の66,753円/m<sup>3</sup>（前年同月比+90%増）。
- 同月のEUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比+7%増の128,179円/m<sup>3</sup>（前年同月比+174%増）。



注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

製材の輸入平均単価



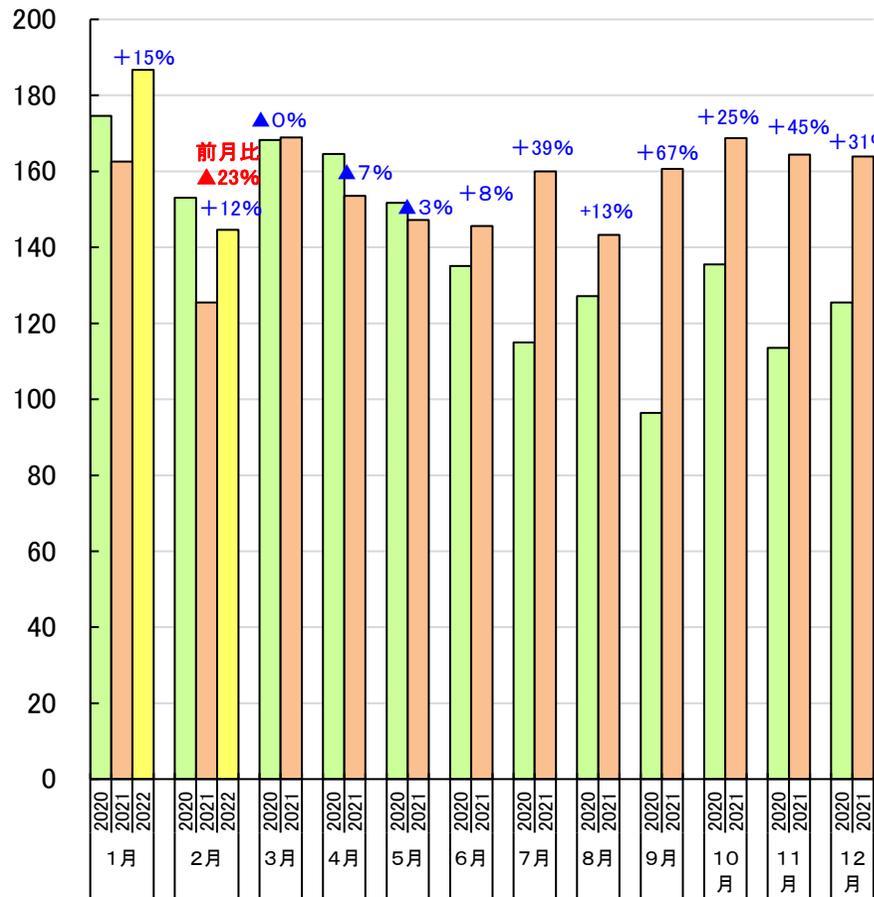
注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

構造用集成材の輸入平均単価

## 8. 合板の月別輸入量と価格

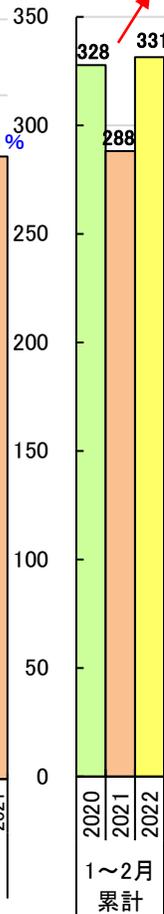
- 2022年2月の合板輸入量は、前月比▲23%減の14.5万m<sup>3</sup>(前年同月比+12%増)。1～2月の累計は、前年同期比+15%増(2020年同期比▲10%減)の33万m<sup>3</sup>。
- 同月の合板輸入平均単価は、前月比▲1%減の82,179円/m<sup>3</sup>(前年同月比+53%増)。

(千m<sup>3</sup>)

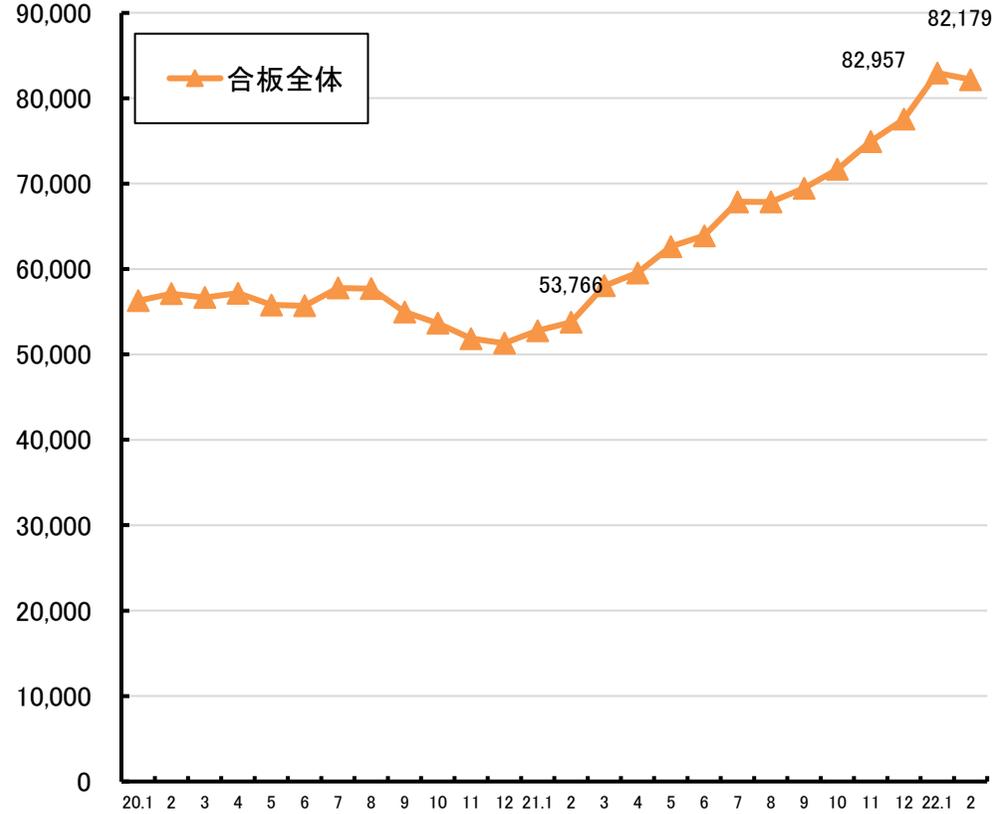


合板の輸入量

(千m<sup>3</sup>) +15% (円/m<sup>3</sup>)



(円/m<sup>3</sup>)

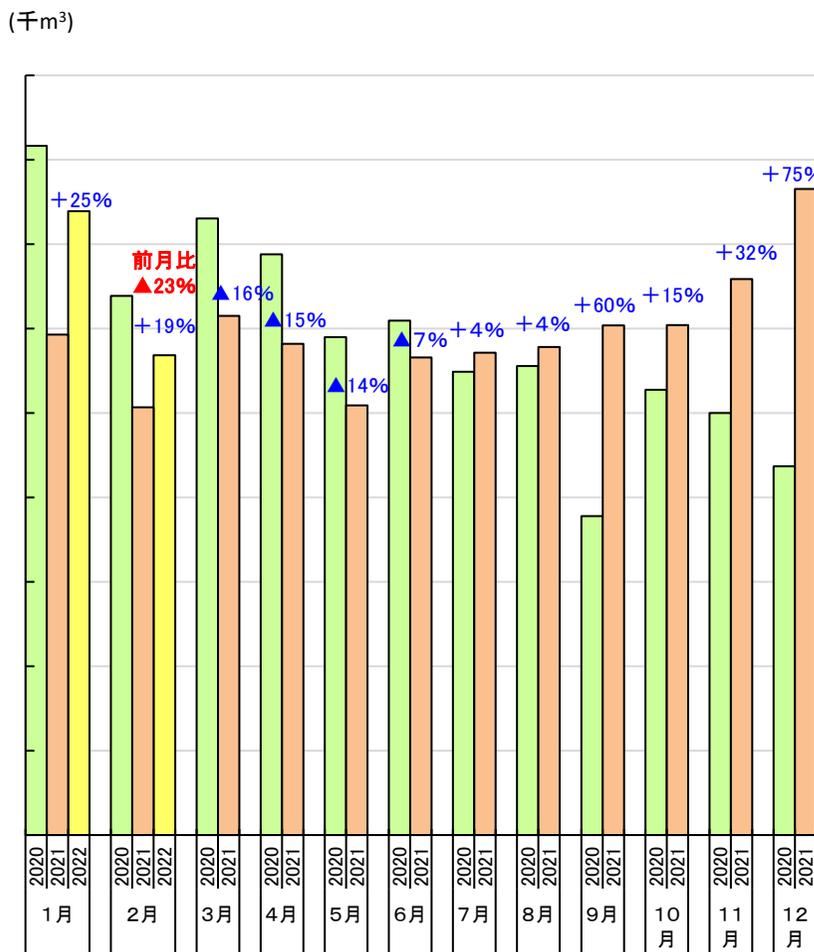


注: 輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

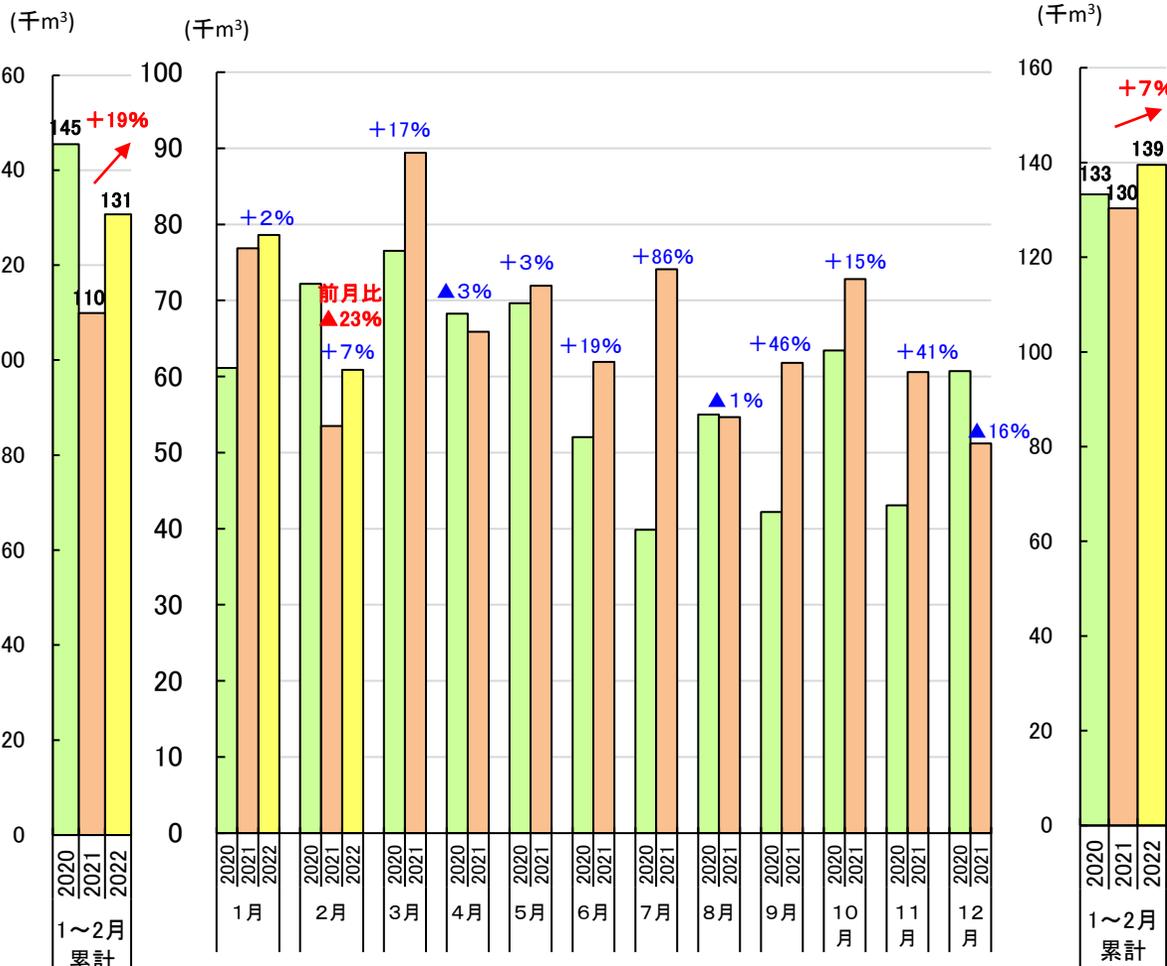
合板の輸入平均単価

# 9. 東南アジアからの合板の月別輸入量

- 2022年2月のインドネシアからの合板輸入量は、前月比▲23%減の5.7万m<sup>3</sup>(前年同月比+14%増)。1～2月の累計は、前年同期比+19%増(2020年同期比▲10%減)の13万m<sup>3</sup>。
- 同月のマレーシアからの合板輸入量は、前月比▲23%減の6.1万m<sup>3</sup>(前年同月比+7%増)。1～2月の累計は、前年同期比+7%増(2020年同期比+5%増)の14万m<sup>3</sup>。



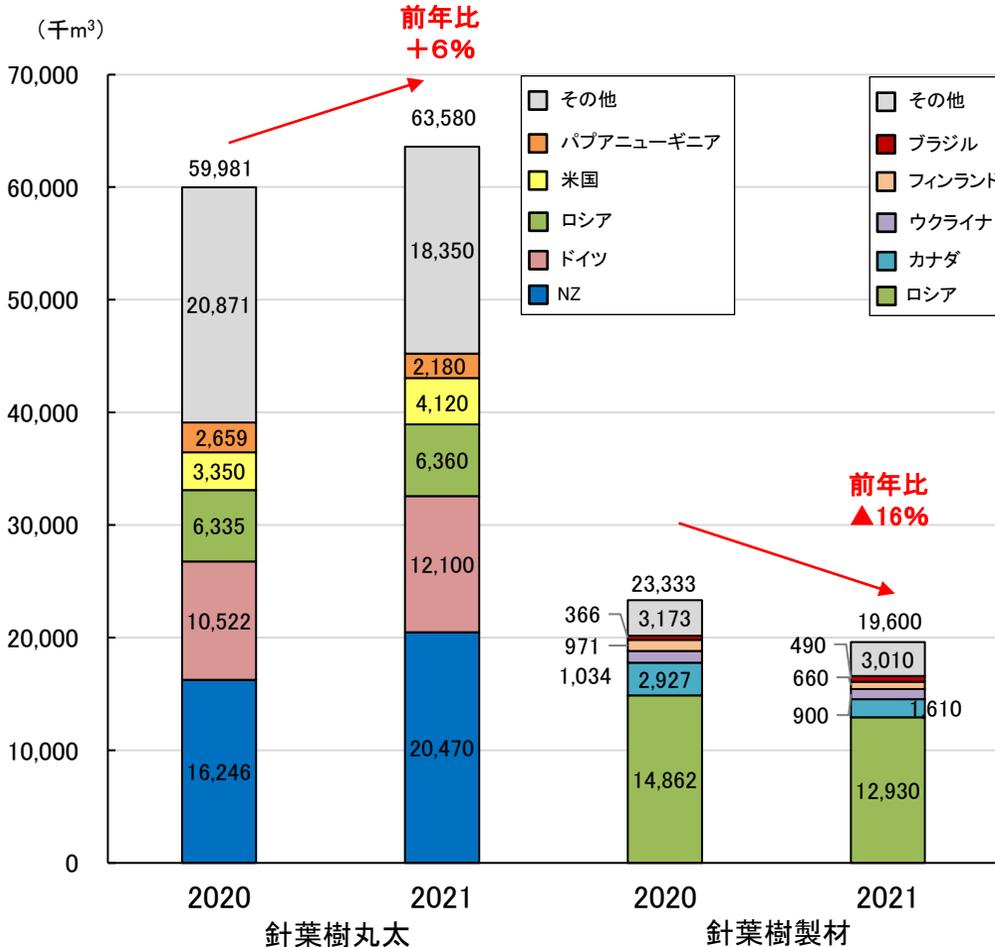
インドネシアからの合板の輸入量



マレーシアからの合板の輸入量

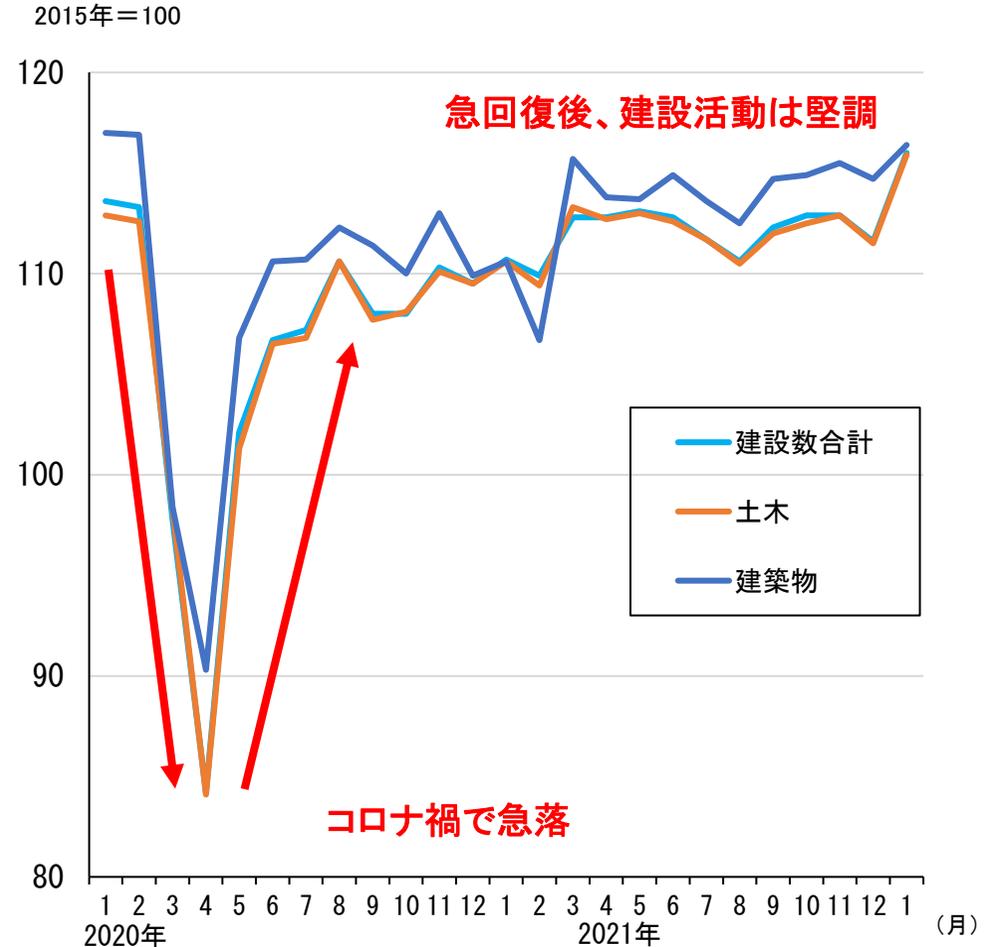
# (参考) 欧州・中国における木材需要の動向

- 中国では、木材需要の増加が継続。2021年の針葉樹丸太輸入量は、前年同期比+6%増の6,358万m<sup>3</sup>。一方、針葉樹製材輸入量は、前年同期比▲16%減の1,960万m<sup>3</sup>。木材輸入の形態が製材から丸太へシフト。
- EUでは、コロナ禍により、昨年春に建設活動が急落したが、同年夏以降は回復して、以後、堅調に推移。



資料: ITTO (Tropical Timber Market Report, Vol.26 (3) (5))

中国の木材輸入量  
(2020年、2021年)



資料: Eurostat (Production in construction - monthly data)

EUにおける建設活動水準(2015年比)